

令和6年度 第5回いわき市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
(子ども・子育て会議) 議事録(案)

1 開催日時

令和6年11月28日(木) 午後2時00分から午後3時00分まで

2 開催場所

いわき市文化センター 2階 中会議室

3 出席者

- (1) 児童福祉専門分科会委員(15名のうち10名出席) ※五十音順
阿部育美委員、荒川正勝委員、伊藤順朗委員、佐藤光徳委員、
志賀達生委員、菅波香織委員、杉村理一郎委員、富樫那都子委員、
新妻沙織委員、藤谷美由記委員、
- (2) 事務局(17名)
こどもみらい部:長谷川部長、村上次長兼総合調整担当
こどもみらい課:篠原参事兼課長、遠藤主任主査兼企画係長、
山口事務主任、志賀主事
こども支援課:國井課長、野崎主幹兼課長補佐
こども家庭課:赤塚課長、坂本主幹兼課長補佐
学校教育課:大沼主任指導主事兼指導係長、緑川主任指導主事
総合教育センター:岩本主任指導主事兼教育支援室長

4 協議事項

- (1) 第三次いわき市こどもみらいプランの骨子案について
(パブリックコメントの実施について)
- (2) 第三次いわき市こどもみらいプランの基本理念について

5 会議の形式等について

- ・ 委員半数以上の出席があり、会議が成立していることを確認した。
- ・ 会議を公開することを確認した。
- ・ 議事録は、議事に直接関係する発言又は説明内容のみを記録し、委員名を記録しない「要点筆記方式」で作成することとした。
- ・ 議事録署名人は志賀達生委員、菅波香織委員の2名を選出した。

6 内 容
 ～協議事項～

(1) 第三次いわき市こどもみらいプランの骨子案について
 (パブリックコメントの実施について)

発言者	発言内容
会長	協議事項(1)の「第三次いわき市こどもみらいプランの骨子案」について、事務局より説明を求める。
事務局	資料1～3について説明
会長	事務局の説明に対し、何か意見・質問があれば発言願いたい。
A委員	<p>資料3の施策体系と取組の例について意見したい。</p> <p>1つ目として、Ⅱ-2-(1)「多様な教育・保育環境の整備」について、「教育」と「保育」に分けた上で、「教育」には、こども大綱にある「多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり」の内容を含むことが良いと思う。</p> <p>2つ目として、Ⅲ-2-(1)「障がいの早期発見・相談・支援」について、「早期発見」と「その後の支援」は分けた方が良いと思う。</p> <p>3つ目として、Ⅲ-3-(1)「家庭教育・学校教育の充実」について、「家庭教育」と「学校教育」は分けた方が良いと思う。</p> <p>4つ目として、取組の例の「こども食堂の運営事業者の支援」について、こども食堂に限らず、こどもの居場所づくりに取り組んでいる団体等への支援も検討してほしい。</p> <p>5つ目として、取組の例の「不登校の児童生徒への支援」について、障がい児や家庭教育・学校教育にも関する取組だと思う。</p> <p>6つ目として、「自殺対策」や「犯罪からこども・若者を守る取組」についても記載してほしい。</p>
事務局	<p>ご意見を頂いた内容を含めて、施策体系と取組については関係課と協議を進めていきたい。</p> <p>第6回児童福祉専門分科会で、具体的な取組内容を見せたい。</p>

(2) 第三次いわき市こどもみらいプランの基本理念について

会長	協議事項(2)の「第三次いわき市こどもみらいプランの基本理念」について、事務局より説明を求める。
事務局	資料4について説明
会長	事務局の説明に対し、何か意見・質問があれば発言願いたい。
B委員	「いわきっ子まんなか」は、自分中心と感じてしまった。 「いわきっ子が輝く」は、みんなが輝くという印象を感じた。
C委員	高校生の意見は若々しくて、「魅力 No 1」など自分たちだけでなく市のことを考えていると感じた。
D委員	市の案では「いわきっ子が輝く」が良いと感じた。
E委員	「いわきっ子まんなか」は、高齢者等にとっては「こどもがまんなかで他の人はよいのか」という印象を与え、指導者にとってはやりにくさを感じる人もいると思う。 市ワーキンググループからの発案は、高校生からの意見をあまり反映することができていないのではと感じる。
A委員	「こどもまんなか」や「いわきっ子まんなか」に違和感があるようなご意見があることについて、国が掲げている「こどもまんなか社会」を市としても広げていく必要があると感じた。 基本目標 I 「こども・若者が権利の主体として生きられるために」を新たに設定したことと関連するが、「ひとりひとり」が多様で、それぞれ違いがありながらも大事であるという意味で、「ひとりひとりが輝く」という表現は良いと感じた。
F委員	いわき市のこども計画なので、「こどもまんなか」や「いわきっ子まんなか」を含むことは良いと思う。 高校生の発案を反映させるには、もう少し長い理念にする必要があると感じた。
G委員	高校生の意見では、「輝く」が多いので、「いわきっ子が輝く」という表現が良いと思う。 市の案では「まち」で終わるが、5年間の計画として「まちづくり」

	<p>とするのはどうか。</p> <p>繋げると、「いわきっ子が輝く 笑顔と夢が広がるまちづくり」という理念が良いと思う。</p>
H委員	<p>高校生の案を活かすと、自分たちの考えが採用されるまちと考えてもらえるので、良いと思う。</p>
I委員	<p>「みんなでつくろう いわきっ子が輝くまちづくり」など、「みんなで」を含むと「こどもだけ」という印象が無くなると思う。</p>
事務局	<p>「子どもまんなか」という現行計画の基本理念は国に先行して使っている。</p> <p>高校生からの意見聴取の中では、高校生は「いわきっ子」という表現に馴染みがあるということを感じた。</p> <p>本日頂いたご意見を踏まえて、最終案を第6回児童福祉専門分科会に諮りたい。</p>

～その他～

発言者	発言内容
会長	事務局から何かあるか。
事務局	事前に相談させていただいた会議日程について、第6回会議は2月14日午後2時から、第7回会議は3月12日午後2時から予定している。
会長	<p>それでは、この辺で、本日の会議の方は閉めさせていただきたいと思います。</p> <p>皆さん、貴重なご意見をいただくことができました。</p> <p>ありがとうございました。</p>